

景況実感調査(2016年1月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 18日稼働だが、正月明けと雪日もあり出荷数量、売上ともに前月を下回った。商況は前月と変化なく、実需は細く、かろうじて中国の市況が底を打ったとの報道が数少ないグッドニュース。新日鐵住金と日新製鋼の合併が発表され、オリンピック以降の需要減を見据えてのサプライサイドの再編が現実となってきた。2月に入り、物件の引合い、見積りとも入ってきており、在庫調整が進めばこれ以上の落ち込みはないと考える。
- ② 酸洗の価格が下げ止まらず、在庫品の買い控えも強いままだ。輸入材の価格に影響を受けやすく、売り急ぐ業者がいると聞く。GAにおいては、クロムフリー化の動きか、こちらも値下げ基調。

中板

- ① 荷動きは低位横這い。相場はじり安。年度末に向けての引合いも少ない。
- ② 仕事が細く、団地にいま一つ活気がない。大手には秋以降から仕事が出て来るとの話が聞かれる。短納期でも仕事を拾っていくしかない状況。

厚板

- ① 年明けから店売りマーケットでは、末端需要に盛り上がりを見せている。2月に入っても状況は変わらない。

一般開張鋼

- ① 昨年11月からの急激な不振の原因の一つに、建築関係では例の「傾きマンション」が契機になったようだが、1月に当事会社に処分が下り、これからの建築需要については収束から回復に向かうと思われる。もう一つの原油価格下落による国内鉄鋼需要の後退については長期化を覚悟しなければならないが、他国に比べてインフラ需要もあり、市況は冴えぬが微風は吹いているのだから上手に風に乗るしかない。
- ② 2、3月は現場が少なく、職人仕事を探しているのが現状だ。

HI開張鋼

- ① 前月と同様な状態が続く。出荷量が低迷したままで増えない。先安観から仕入れを減らしていたので、一部サイズで歯抜けが出ているが、価格の維持が厳しい状況になっている。
- ② 1月の後半から引合いが少なくなり、その状況が続いている。したがって、市況も弱含みになっている。

異形棒鋼

- ① 正月休みもあり、引合いは無く、商いは超低調。市況は弱含み横這いだが、荷動きが少ない環境の中で踏み止まっている。

平鋼

- ① 1月中旬以降、荷動きは大きく減少。建築関連の動きが鈍いのが原因か。価格はじり安。スクラップも低位安定しているため、需要が回復しない限り価格の上昇は望めない。

車体量形鋼

- ① 今期前半は、やや好調であったが、後半に失速し12月以降は例年になく不調の見込み。

鋼管

- ① 年初から大きな変化はなく、好調な分野も少なく、先行きの不透明感が強まっている。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は一部の自動車メーカーでの在庫調整が完了したとのことだが、まだメーカーによってバラツキがあり、先々不透明である。建築機関連は変化なく、回復が見込めない状況で推移している。工作機械、産業機械は一時の勢いはなく、新規受注は減少傾向にある。店売りの荷動きは、建設機械の減速が続く中、低調な動きが続いている。市況は弱含み横這いで推移している。
- ② 店売りは定貯な動きが続いており、市況も弱く、厳しい状態に変化なし。

加工品

- ① 品物の動きが急に悪化している。

鋼材全般

- ① 1月の第一週はトラックが少なく、商売が無い状態だった。2週目以降は何とか形だけは出来てきたが、忙しいのは月、火、水だけだ。最近、顧客からのネゴが多く、相場観が安定していないと思われる。

その他

<スクラップ>

- ① 荷動きは低調。スクラップ価格についても上がる要因は少ない。まだしばらくは低調な状況が続きそうだ。発生量、価格ともに今が底だと願いたい。

<金属表面処理加工>

- ① 1月は紐付き、物件物とも計画通り。スポットの扱い量も前月比20%増となり、高い操業となった。2月は1月実績と同様の処理量を見込んでおり、造船、プラントを中心に高い水準での稼働となりそうである。